

議会だより 190

2023年11月1日発行

三芳町



令和4年度決算審査

▶ p.2

一般質問

▶ p.10

委員会活動報告

▶ p.18

▶ 表紙写真に関する紹介が20ページにあります。

議会だより発行月

2月

5月

8月

11月

次の発行は2月1日の予定です。

令和4年度決算審査が行われました

令和5年
第5回 定例会
(8月28日～9月20日)

委員長報告

委員から出された意見について協議を行った結果、委員会総意としてまとめられたものは次のとおりです。

- ・ 予算資料と決算資料の記載方法が異なることが例年見受けられる。見比べる際、名称や回数が分かりやすい表記にすること
- ・ 事業名については、正式名称を表記すること
- ・ 町税については、予算と決算の差異が大きくなるように、社会情勢等を考慮し算定すべき
- ・ 一般会計決算は、歳入歳出差引残額約14億円、財政調整基金年度末現在高約17億円と一時期の厳しい状況とは違い額が大きい。住民等がより良い行政サービスを受けられるよう、適切な予算措置と執行を検討すべき
- ・ 生垣設置奨励補助等、利用のない事業、また住宅用火災警報器購入補助やブロック塀等撤去・築造工事助成金等、利用率の低い事業については、利用率が上がるよう、申請の簡素化や制度設計の見直し等工夫をすべき
- ・ ライフバスと協議し、住民にとって利用しやすい公共交通とすること

- ・ アライグマ等による被害が広がらないよう、対策強化に取り組むこと
 - ・ みどりを守るための保全策を講じること
 - ・ 公共施設の整備について、特に学校施設の危険と思われる個所については、計画や学校要望を精査し、早急に対応すべき
 - ・ 学校図書館整備事業では、標準図書充足率の達成に向け努力すること
 - ・ 各公民館へのWi-Fi整備を求める声にこたえられていないのでは
 - ・ 共生社会の構築に向け、障がい者雇用を推進すること
- 以上が委員総意の意見です。

なお、採決の結果、一般会計、特別会計及び企業会計全6件において「賛成総員」もしくは「賛成多数」として「認定すべきもの」となりました。



一般会計決算額

歳入

総額

160億3670万9799円
(前年度比1億5633万7058円増)

歳出

総額

146億1226万7121円
(前年度比1億2660万5282円減)

決算特別委員会とは

町の決算を審査するために設置された委員会です。議長を除いた14名の議員で構成されています。一般会計・特別会計・企業会計の決算認定6件を審査しました。

委員長	小松 伸介	委員	久保 健二	吉村美津子
副委員長	林 善美		光下 重之	桃園 典子
			池上 義典	細谷 光弘
			菊地 浩二	牛丸 藍子
			増田 磨美	本名 洋
			長野真寿美	細田 三恵



第5回定例会が8月28日から9月20日まで24日間の日程で開かれ、町長提出の報告3件、議案5件、同意2件、認定6件があり、すべて原案通り「可決」「認定」しました。また、議員発議の意見書4件のうち2件を「可決」、2件を「否決」しました。一般質問では、13名の議員が4日間にわたって、活発な議論を展開し、それぞれの視点で町政への質疑、提案が行われました。

一般会計

公共交通利用補助事業

【70歳以上の高齢者・妊婦の移動を支援するため、タクシーの運賃やバス回数券の一部を補助する事業】

予算額 1400万円 (1万円×1400人)

決算額 574万3600円 (利用847人)

【主な質疑】

問 申請方法として庁舎窓口以外にも出張の窓口や郵送での対応をすることだったが、それぞれの対応数は。

答 各集会所に出張して対応したこともあり、3月には申請が500件ほどあり例年になく多かった。

建築物耐震改修促進事業

【地震による倒壊の恐れのあるブロック塀等の撤去・築造工事を行う所有者に対し、その費用の一部を助成する】

予算額 180万円

決算額 52万7000円 (1件)

【主な質疑】

問 危険度の高いところから順次所有者に事業の案内をしていくということだったが、何件に訪問されたか。

答 7件ほど訪問した。

問 当初予算審査の際に、町内全域で29カ所を確認しているということだったが、既に対応済みの4カ所を除くと残りは25カ所なのではないか。

答 29カ所中14カ所に関しては緊急性が低いと判断したため15カ所である。

賛成 三芳みらい

実質収支は14億円の黒字、自主財源比率は67%となった。単年度財政力指数は1.056で不交付団体となったことは評価できる。財政負担増は確実なため不断の行財政改革に取り組みながら基金の積み上げ等を増やす必要がある。財政力指数の計画的な向上を目指し持続可能な財政運営を期待する。

交通安全啓発事業

【交通事故防止に向けた歩行者および自転車への安全啓発の実施や補助】

「自転車用ヘルメット購入補助金」

予算額 10万円 (1000円×100人)

決算額 6万2900円 (63人)

【主な質疑】

問 予算では100人分計上されていたが63人分の利用だったが、その結果をどの様に捉えているか。

答 様々な形で啓発してきたが、4月より着用が努力義務となり高齢者の購入も増えたことで、ヘルメットが品薄となり購入にも影響が出たようだ。

問 購入後の補助金の申請手続きが大変で高齢者やその家族の方が困っている声があるが今後手続きの仕方に変更はないか。

答 その様な事実もあるため、現在インターネットでした場合でも臨機応変に対応するようにしている。

住宅用火災警報器購入補助

【平成18年5月以前に建築された住宅等が対象】

予算額 50万円 1万円×50件

決算額 12万円 18件

【主な質疑】

問 予算50件に対して少なかった要因は。

答 自宅が補助対象なのか分からない方や自分で設置できないと感じる方がいるためと考える。

問 事業に対する今後の周知は。

答 自分で設置できない方は消防本部との連携し、周知啓発を続ける。

反対 日本共産党

国の交付金による水道料金基本料の減免や学校給食費の無償は評価できるが町独自の政策展開も必要だった。また、公共交通の抜本的な改善は進んでいない。三芳スマートICのアクセス道路を含め全町的な交通安全対策も重要。14億円の繰越額は大きく住民サービスに使われるべきだった。

令和の森公園施設管理・整備事業

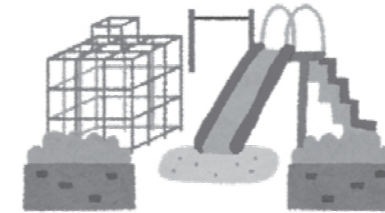
【住民が令和の森公園を安全で快適に利用できるように、遊具・トイレ等の修繕等を行いドックラン整備工事・アスレチック整備工事等を行った。】

予算額 4039万円

アスレチック整備工場が加わり

補正予算額 1272万円

決算額 5302万円



旧島田家住宅茅葺屋根差し茅工事

【文化財保護のため茅葺屋根の差し茅工事の実施】

予算額 1760万円

決算額 1500万円

【主な質疑】

問 差し茅工事は期間内で終わったのか。

答 予定工期で済んだ。

問 何年もつのか。

答 10年から15年程度。

賛成 公明党

世界情勢が不安定な中だが、町においては主要財源となる町税も前年度を上回るなど回復傾向がみられた。中止となった事業もある中でドッグラン・アスレチック広場、ふれあいクーポン券の増額、学校給食費の減免など住民生活支援とニーズに合った事業が実施されており賛成する。

緑化推進事業

【樹木の植栽による沿道緑化のほか、住民・事業者の宅地内植樹を促進し、みどり豊かな美しいまちづくりを推進した。】

予算額 苗木 2000円×1000本×1.10
220万円

決算額 苗木 730本
129万円



地球温暖化対策推進事業

【ゼロカーボンシティの実現に向けて再生可能エネルギーや電気自動車の導入を促進する】

「次世代自家用車購入補助」

予算額 100万円 (5万円×20件)

決算額 65万円 (5万円×13件)

【主な質疑】

問 次世代自家用車購入補助の利用率が低かったが、どのように捉えているか。

答 ゼロカーボンを目指す取組みの一つとして重要であることから、今後も周知方法を検討していく。

反対 吉村美津子

地球温暖化が進む中、平地林や畑保全の施策が求められているが、開発優先の町政となっている。福祉施策に乏しい町でもある。他自治体では18歳までの医療費の無料化が進んでいる。当町でも実施すべきだ。補聴器購入への助成も行うべきで、もっと町民の暮らしに税金を使うべきだ。

公営企業会計

区分		総収入	総支出
水道事業会計	収益的収支	8億3050万408円	8億378万1508円
	資本的収支	1億7291万8460円	5億74万8404円
下水道事業会計	収益的収支	8億1311万2920円	7億1617万7793円
	資本的収支	9131万1061円	2億3531万9297円

水道事業会計の主な事業

※水道料金の基本料金を合計6か月分減免した。
(一般会計からの繰入額、約5752万円)
※竹間沢東地区の水道管耐震化工事約780m、その他導水管布設替え工事520mを行った。

【主な質疑】

- 問** 有収水量(料金徴収対象水量)が減少した理由は。
答 半導体メーカーが水道水のリサイクル設備を通年で稼働した影響によるもの。
- 問** 町内の水道管でポリエチレン管に替わっている総延長と割合は。
答 全体の管路延長が137.96km、その中でポリエチレン管が12.625km、全体の約9%になる。

下水道事業会計の主な事業

※公共下水道管テレビカメラ調査業務委託、藤久保地内公共下水道管渠(污水管)補修ほか、荒川右岸流域下水道事業など。

【主な質疑】

- 問** 公共下水道管テレビカメラ調査の結果は。
答 早急に改築・修繕する必要な箇所はなかった。
- 問** 利息及び配当金の6万5000円の運用元本は。
答 1億円を定期預金に、利率0.065%で運用。
- 問** 繰上償還出来る位の200万を何故起債をするのか。
答 更新事業に係る支出の2分の1に当たる部分を起債することとしている。

賛成 日本共産党

約578万円純利益をあげたが、今後営業費用を営業収益で賄えないとの見通しが不安だ。しかし、町水道事業は他市にはない困難性がある中で経営の健全性・効率性等で高水準を維持してきたことは特筆に値する。料金引下げ議論は収益性・財務状態等多面的に検討しすすめるべきだ。

賛成 吉村美津子

新型コロナウイルス感染症緊急対策支援措置の補助金で水道料金の基本料金の免除が半年間行われた。免除を求めてきたので評価する。現金及び預金が12億円余もある。家庭の水道料金の基本料金の免除をもう半年間続けるべきだ。県水の値上げが提案されても住民への転嫁はしないこと。

ことば

水道事業会計

収益的収支: 収入は、水道料金や接続料金等の収入。支出は、水をつくる為に掛かる費用など。

資本的収支: 収入は、債券発行など。支出は、水道施設や水道管等の布設、更新費用など。

下水道事業会計

収益的収支: 収入は、下水道使用料、一般会計繰入金など。支出は、下水道管等の維持管理など。

資本的収支: 収入は、水道事業と同じで債権発行など。支出は、企業債元金償還金、下水道管等の建設費、改良、更新費用など。

特別会計

国民健康保険特別会計決算

歳入総額 36億4107万347円

歳出総額 35億980万7410円

★国民健康保険の被保険者数は年々減少している。今年度決算額は、歳入で前年度比4.5%の減、歳出で前年度比4%の減少となっている。実質収支額は、約1億3126万円の黒字(前年度比14.9%の減)となった。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
被保険者数(平均)	8198人	7908人	7481人
一人当たりの金額	434,466円	481,982円	486,709円

反論 日本共産党

令和4年度は国民健康保険税の賦課限度額が医療分は61万円から63万円、介護分は16万円から17万円へと引上げられた。高額所得ではない世帯まで対象になってしまう。1億3126万2937円の黒字決算であり、賦課限度額の引き上げを必要は無かったと判断し決算認定に反対する。

後期高齢者医療特別会計決算

歳入総額 10億9262万4710円

歳出総額 10億6809万6608円

★後期高齢者保険の被保険者数は、年々増加している。今年度決算額は、歳入で前年度比15%の増、歳出で前年度比14.5%の増となった。実質収支額は、約2453万円の黒字。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
被保険者数(平均)	5530人	5822人	6108人
一人当たりの金額	97,039円	163,143円	178,884円

反論 日本共産党

後期高齢者医療制度は75歳以上の高齢者を切り離し別保険にする差別的な制度である。令和4年度は均等割額が4万1700円から4万4170円に、所得割率は7.96%から8.38%へと引き上げられた。10月からは一定所得以上の人は窓口負担が1割から2割になったことから決算認定に反対する。

介護保険特別会計決算

歳入総額 29億1639万6841円

歳出総額 27億4263万2418円

【主な質疑】
問 高額介護サービス費は前年度より増えているが、要因は。
答 利用者が増加し一人当たりの利用金額も増えて、結果高額介護サービス費の上限を超える方が増えている。

賛成 吉村美津子

介護給付費準備基金残高が3億6000万余とある。2020年度決算では不用額もあり、歳入歳出差引額は1億7376万4423円となっている。来年度は、介護保険料の改定の年になる。基金を取り崩して第1号被保険者(65歳以上)への値上げは行わないよう強く求める。

1

町道幹線14号線
北永井地内 みはち自治会周辺

区画線工事

T字マーク、十字マーク、
文字（カーブ注意）（止まれ）、
グリーンベルト（歩道帯）



2

町道上富49号線、61号線
上富地内 多福自治会周辺

区画線工事

T字マーク、十字マーク、
文字（交差点注意）（止まれ）、
グリーンベルト（歩道帯）



町民の皆さんから
いただいた声をもとに
実施します

交通安全のため、道路区画線や交通安全施設等の
整備や修繕工事を実施します。

町内4地域 **1512万円**



3

町道上富114・174・192号線
上富地内 関越自動車道西側道

路面凸部設置工事

ハンプ設置、
滑り止め舗装 文字（ハンプ注意）
ラバーポール設置48本

4

町道上富243・69号線
上富地内 関越自動車道周辺道路

ひび割れ補修工事トンネルの安全管理のため

制限標識設置工事

関越自動車道下部トンネル高さ制限標識設置 3基
建柱式 2基、建柱式両面 1基

令和5年度 三芳町一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算にそれぞれ1億1004万7000円を追加し歳入歳出予算総額142億3255万6000円とする。

庁舎第2 駐車場枯れ木伐採業務委託料

庁舎敷地の枯れ木の伐採や植栽を行う。
281万円

【主な質疑】

問 枯れ木伐採の本数は。

答 1本。

問 植栽工事の内容は。

答 庁舎周辺にソメイヨシノとしだれ桜合わせて
約30本植える。

スマート IC利便性向上促進事業

三芳スマート ICフル化供用にあわせて、
開通記念式典を実施する。
406万円

【主な質疑】

問 式典の実施時期はいつか。

答 未定だが、式典とセレモニーを行う。



幹線14号線からの入口



現在のスマートICの入口

子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

物価高騰（食品等）などで影響を受ける
子育て世帯（非課税世帯）への国からの
給付金。
485万円

【主な質疑】

問 5万円×97人の増額の要因は。

答 家計急変等で50人と見込んでいたが不足が想
定されるため。

民間保育所等支援事業

園児の乗車、降車時の見落とし防止対策
のため送迎用バスへの安全装置の設置補
助及び物価高騰の影響を受ける保育施設
等の支援をする。

* 認定こども園

* 認可施設 8カ所 認可外施設 5カ所

計 264万円



反 討 論 吉村美津子

町民の税金でスマート IC の開
通記念式典を 406 万 6000 円か
けて行う。大型車の通行に対して、多くの町民
が反対をしてきた。今からでも大型車の通行は
止めるべきだ。このような中での盛大な式典は、
町民の理解は得られない。町民の暮らしにこそ
税金を使うべきだ。



公明党 桃園典子 もも その のり こ

さくらねこチケット活用の実現を



問 布設替えの判断基準は。60年を基準としている。

答 上下水道課 実使用年数

問 適切な維持管理の為AI劣化診断を実施しては。

答 上下水道課 AIを活用している企業体の取組みの経緯を注視しつつ町の事業に合致するのを見定めていく。

問 配水管のダウンサイジング必要性への考えは。

水道管路の維持管理

問 令和3年第7回定例会において、動物基金へ行政枠としての登録と、さくらねこチケットの活用を提案したがその後の検討状況は。

答 環境課 現在行政枠の取得に向けて取組んでいる。

問 猫ボランティア個人でもさくらねこチケットが活用出来るように町の支援体制を構築してはどうか。

答 町長 提案頂いてから2年間かけて調査研究してきた令和6年度から導入する予定で進めている。

環境問題を見据えた動物基金の活用について



...「さくらねこチケット」地域ネコの不好手術...

住民の皆さんの真心に甘えていいの？

ボランティアだけでは...

答 上下水道課 検討すべき時期と考える。

問 更新費用の財源は。

答 上下水道課 財源確保に大きな課題を感じている。

問 財源確保の一つとして企業参加型の三芳町の飲料ボトルを製造してはどうか。

答 町長 官民連携は大事と考える。企業参加型のラベル等協賛で作るなど研究していきたい。

問 新たに配置された心理専門員等に、保護者が相談しやすい体制作りや周知等の環境整備をしては。

答 教育長 積極的に保護者に周知すると共に一層心理専門員に相談しやすい体制作りを目指して研究を進めていきたい。

教育センターにおける教育相談について

学校の常識を見直す時代へ



輝 牛丸藍子 うしまる あい こ



問 校則の法的根拠は。

答 学校教育課 特にないと認識している。

問 校則をスリム化すること

校則の現状について

問 校則制定のプロセスは。

答 学校教育課 権限は校長だが、児童生徒や保護者の考え方、地域の状況や社会時代の進展を踏まえて見直すよう指示している。

問 校則の見直しについて教職員からの意見は。

答 学校教育課 現在の社会にそぐわない規定や児童生徒へ過度な負担・熱中症リスクが高まる規定などを見直す意見が出ている。

問 養護教諭の見解を伺うなど専門的な視点から校則を見直しているか。

答 学校教育課 生徒指導部会に養護教諭も含め、見解を問い検討を進めている。

問 ホームページで校則が公開されていない。今後公開する予定は。

答 学校教育課 校則の見直しに関するガイドラインの策定を進め、公開についても検討する。

その他の質問

問 自主選定にすることで快適な状態で教育を受けられると考えるがどうか。

答 学校教育課 質の良い物を選定しているが、個別の事情や状況により家庭から要望があれば柔軟に対応するよう学校に指導する。

問 学校指定品の各家庭の負担に対する認識は。

答 学校教育課 経済的負担が過重でないか各学校で検討している。

問 制服について②生徒会について



定例会で議員が行政や政策に関する質問をし、提案をする場です。地域の課題に対処し、住民の声を反映させるための大切な場所です。

議員の持ち時間は60分以内です。紙面の都合上、ほんの一部の掲載となります。QRコードからYouTubeで動画をご覧いただけます。

久保健二議員 P.14
小中体育館へのエアコン導入決定

小松伸介議員 P.14
安心安全に繋がる防犯カメラ設置

本名 洋議員 P.15
三芳スマートICの交通安全は

増田磨美議員 P.15
子どもの学校生活を守れ

光下重之議員 P.16
世界農業遺産とゴミ不法投棄処理

細谷光弘議員 P.16
火災予防対策等について

菊地浩二議員 P.10
かえって「危険」黄色のポール

桃園典子議員 P.11
さくらねこチケット活用の実現を

牛丸藍子議員 P.11
学校の常識を見直す時代へ

吉村美津子議員 P.12
学校の統廃合計画はやめるべき

長野真寿美議員 P.12
学童保育について

林 善美議員 P.13
猫の保護に関する取組について

細田三恵議員 P.13
こぶしの里について



輝 菊地浩二 きくち こうじ

かえって「危険」黄色のポール



問 町の道路に黄色のポールが立っている。正式名はポールというが、これと赤の柔らかいポールがあるがどう使い分けているか。

答 道路交通課 交通安全対策として進入禁止や通行制限・誘導等を目的として視覚的な明示が必要な箇所に設置している。

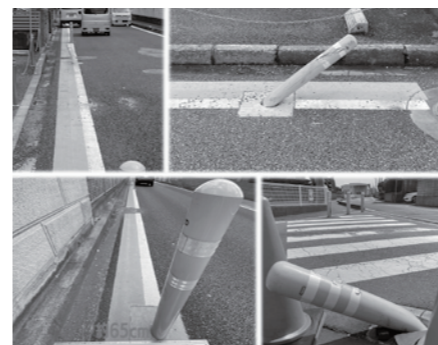
問 町に立っているポールはN型ポールといって耐衝撃性がない。事故が起きた時に、ポールが折れ曲がってしまい車が歩道まで行ってしまいが、これで歩行者の安全を守るか。

答 道路交通課 歩車道境界の区別を視覚的に強調することが第一の役割で、車両が誤って歩道を通行しないよう誘導する仕様として効果を発揮している。

問 このポールで本当に歩行者を守るか。

答 道路交通課 ある程度強度はあると判断している。

問 このポールの設置により歩道の有効幅員が65cmしかない場所もある。椅子利用者やシルバーカー利用者などはポールがあると歩道を通れない。



ポール

問 誰にとっても安全な交通環境が必要だが、このポールに衝突してしまう車両事故が後を絶たない。町長はどうか考えるか。

答 町長 ポールは路側帯側に立っている。安全運転、スピードを守り脇見しなければ、ぶつからない。運転者には今まで以上に気をつけていただきたい。



三芳みらい
林 善美
はやし よしみ

猫の保護に関する取組について



問 検査結果は。
答 上下水道課 今年度から年に1回検査を実施。7月に5か所の井戸を検査し、不検出(定量下限値未満)。
問 PFOSを含む泡消火薬剤が使用されている施設は。
答 環境課 防火対象物5か所、危険物の製造等10か所。

問 TNR活動について町の認識は。
答 環境課 有効なものであると考えている。
問 ボランティア団体との連携は図られているか。
答 環境課 町内に団体はない。個人で活動している方と情報交換を行っている。
問 町内の多頭飼育崩壊の現状に対する認識は。
答 環境課 令和4年度はない。複合的な要因があるため他部署や県動物指導センターと連携し対応する。
問 どうぶつ基金を活用してはどうか。
答 環境課 行政枠を取得し、支援していく。
有機フッ素化合物(PFAS)について



優先駐車区画

問 導入のメリットは。
答 福祉課 障がい者、高齢者、妊産婦の方などに利用証を交付する。駐車区画の適正利用が推進できる。
問 公共施設の優先駐車区画の整備計画は。
答 施設マネジメント課 庁舎南側に2台分を整備。その他の施設は適正利用の状況を踏まえ、必要な施設には整備を検討していく。
埼玉県おもいやり駐車場制度について



三芳みらい
細田 三恵
ほそだ みつえ

こぶしの里について



暑さ対策について
問 教職員や児童への共通意識に取組んでいるか。
答 学校教育課 教育活動全体で随時取組んでいる。
問 スポーツドリンク持ち込み等の対策に向けた学校の

問 「ほたる育成会」が解散したが、会存続のために町は応援できなかったか。
答 観光産業課 町は会に対し補助金支給とPR等を行ってきた。組織内の高齢化が理由との報告を受け、大変残念なのだが、今回は会の方針を尊重した。
問 ほたるの観賞を継続していくための検討は。
答 観光産業課 提案型事業委託制度を活用し「竹間沢こぶしの里・ほたる育成事業」として募集を行う。
問 「こぶしの里」の整備は今後も進めていくのか。
答 都市計画課 現地を点検したところ、手すりや足場の傷んでいる部分があり修繕する予定。また、「こぶしの川」の浚渫、樹木剪定の植栽管理等多くの課題に向き合う時期に来ていると感じている。



もしものことを考えたことがありますか？

問 普及啓発の取組みとしてどの様な課題があるか。
答 健康増進課 一般の方だけではなく、医療従事者等も認知度が低いと言った調査結果が出ています。住民への周知だけでなく、医師会や介護事業所等とも連携し進めていく。
問 人生会議の重要性をどのように考えるか。
答 健康増進課 人生の最終段階で受ける医療やケア等について、ご本人や家族等の意思を尊重できることから重要と考える。
問 普及啓発の取組みとしてどの様な課題があるか。
答 健康増進課 一般の方だけではなく、医療従事者等も認知度が低いと言った調査結果が出ています。住民への周知だけでなく、医師会や介護事業所等とも連携し進めていく。

定例会で議員が行政や政策に関する質問をし、提案をする場です。地域の課題に対処し、住民の声を反映させるための大切な場所です。



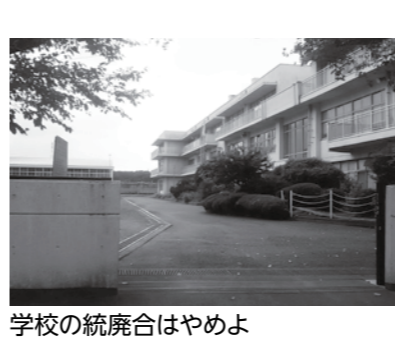
吉村美津子
よしむらみ つこ

学校の統廃合計画はやめるべき



問 竹間沢小学校の児童数が増えた時には統廃合はなくなると捉えてよいか。
答 学校教育課 状況を見ながら判断したい。
問 三芳小学校と三芳中学校を一つとする小中一貫校は止めるべきだ。藤久保中学校の廃止なども審議会で話し合うのか。

学校の統廃合問題を審議する「学校再編等審議会」が2年任期で設けられた。町の施設マネジメント基本計画では、上富小学校、竹間沢小学校、三芳小学校、藤久保中学校の4校が廃止の方向だ。学校の統廃合問題は住民の声からではなく、国の教育予算を削減するために推し進めていることだ。よって、学校の統廃合問題に対して反対の立場で質問する。
問 上富小学校の良い点はたくさんある。学級の人数は学級の理想であり、発言力が身に付き、一人ひとりの児童をよく見てあげられる。現在、不登校児童は一人もいない。避難場所や地域の交流の場でもある。町長はこのメリットをどのように捉えるか。
答 町長 いろいろなメリットもあると思う。
問 多額な税金を使った三芳スマートーCへの大型車の通行は止めることについて



学校の統廃合はやめよ

問 国は、教育予算を減らすために学校の統廃合を進めるように地方自治体へ手引き書まで出して推し進めている。今、行うことは統廃合ではなく、教員を増やすことや25人学級とすることだ。どのように考えるか。
答 町長 国の方針ではなく、町として将来を見据えながら統廃合を考えている。
その他の質問



三芳みらい
長野真寿美
ながの ますみ

学童保育について



問 子育て支援で他の自治体では、祖父母も子育て支援に参加する為の孫育て手帳等が作成されているが三芳町では存在するのか。
答 こども支援課 現在作成されていない。
問 作成していく予定はあるのか。

問 延長保育の受け入れは検討できないのか。
答 こども支援課 今後検討が必要と認識はしている。今年度実施する子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査でもご意見を伺い実施について検討したい。
問 昼食を民間に委託することはできないのか。
答 こども支援課 夏休み期間中週一回、副食を提供している。
問 民間委託について検討したことはあるのか。
答 こども支援課 委託については、具体的な検討をしたことは無いが、検討することを視野に入れて考えてもよいと考えている。
子育てで応援する祖父母



問 赤ちゃんの流産・死産等を経験された方のケアに関するニーズの把握は。
答 健康増進課 今年度から8ヶ月頃のアンケートより状況確認することは可能。
問 利用できる制度や相談窓口・ケア体制は。
答 健康増進課 窓口での相談や訪問をすることはできる。専門的な窓口として、町の女性相談や埼玉県の相談窓口を利用できる。
その他の質問
 ①全国学力調査について②教育委員会について③教育大綱策定について



三芳スマートICの交通安全は



問 ペットボトルの持ち込み許可している学校と、してない学校があるが理由は。

答 **学校教育課** 容器の処分等の指導の徹底が出来ていないことが課題となり許可していないと捉えている。

問 町内小中学校8校、全校足並みを揃えた偏りのない対応をしてもらいたい。参考までに早い学校ではいつ頃許可していたのか。

答 **学校教育課** 1年ほど前に許可したと聞いている。

問 三芳町学校施設個別施設計画一では令和8年から令和11年の4年間で藤久保小学校を除く、小中学校7校の体育館へのエアコンを設置する計画だが、近年の災害級の猛暑を考えると令和8年からの整備では遅すぎる。災害時の避難場所ということ、子供たちの健康面を考えるとエアコン設置時期の見直し、大幅な整備時期の前倒しをするべきと考えるが出来ないか。

答 **教育総務課** ご指摘の通り令和8年から令和11年の4年間で整備する計画だが近年の猛暑や指定避難所に位置付けられていることから令和6年度、令和7年度の2か年で藤久保小学校を除く小中7校を工事する方針を内部で決定している。

問 ライフラインが遮断されるような大規模災害時に蓄電機能のある機器等導入している自治体もあるが、機器自ら発電し停電や、避難所では必須の動力源として機能する機器の導入等は。

答 **教育総務課** 有事の際に電気の供給が止まっても空調が稼働する熱源がガスのGHPエアコン、自立運転機能の付いた機種を導入を検討。また燃料備蓄のためガスを貯蔵するバルクタンクの設置を予定している。



アライグマによる被害が増加中

問 5年後を目途とした支援センターの市町村移行への対応は。

答 **福祉課** 障害福祉サービスを組み立てサービスを提供します。

問 現状、町としての支援体制は十分か。

答 **福祉課** 医療的ケア児等コーディネーター1名の協力を得ながら支援を進めている。十分と考える。

問 18歳以上の医療的ケア者へも対応ができるか。

答 **福祉課** 障害福祉サービスを組み立てサービスを提供します。

問 三芳スマートICのフル化開通が見えてきた。歓迎する声が聞かれる一方で交通安全や渋滞など心配する声も多く聞かれる。

問 フル化開通はまず普通車のみで状況を確認しては。

答 **町長** これまで安全対策に取り組んできた。供用開始後も取り組んでいく。

問 開通後問題が起きたら速やかに対処できるか。

答 **町長** 問題が発生したら適切な対応策を講じる。

問 医療的ケア児等支援センターについて

問 オオキンケイギクやアライグマなどの特定外来生物についての住民周知は。

答 **福祉課** 県、医療的ケア児等支援センターと連携し検討していく。

問 町の環境行政について

答 **環境課** 環境を守ることが重要なので、ホームページ等で情報提供していく。

問 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術への補助制度を創設しては。

答 **環境課** どうぶつ基金の活用によりTNRチケットの行政枠の取得に取り組みしていきたい。

問 2050年カーボンニュートラルへ向け気候市民会議を設置しては。

答 **環境課** 先進自治体の取り組みを参考に検討していきたい。



小中体育館へのエアコン導入決定



問 防犯カメラ設置状況は。

答 **自治安心課** 庁舎、公民館等、公共施設に63台。

問 上富にある株式会社MIYOSHIから防犯カメラの寄贈があり、企業と町を繋げた当事者として嬉しく思っている。協定内容は。

答 **自治安心課** レンタル期間が終了した防犯カメラを有効活用し、防犯活動に寄与するため寄贈して頂く。

問 複数世帯での設置申請はガイドラインの「その他の近隣社会」に含まれるか。

答 **自治安心課** 基本は団体だが形態が多様化している。ガイドラインに沿った管理が可能かを基準に考えたい。

問 今後の設置計画は。

答 **自治安心課** まずは要望あった学校や公園に56台。

問 子ども達の登下校の通学路等にも設置を進めては。

答 **町長** 寄贈に大変感謝している。少しでも多く防犯カメラを設置し、安心安全な三芳町をPRしたい。学校関係も協議して進めたい。

問 町内小学校で寄贈頂いた企業へ社会科見学を行っている。継続拡充の考えは。

答 **福祉課** アプリ対応済。話が期待出来る。要検討。

問 話した言葉が画面表示される機器等を導入し、窓口の意思疎通を支援しては。

答 **福祉課** アプリ対応済。



小中学校体育館へのエアコン機器の早期導入決定!

問 マイボトル等の推進は。

答 **施設マネジメント課** 関係各課と連携し一人一人が出来る事から取組みたい。

問 学校給食の牛乳をストローレス容器に検討しては。

答 **給食センター所長** 時間はかかるが直飲みする容器の準備を進めている。

問 プラスチックごみゼロ宣言を検討しては。

答 **環境課** 住民への意識付けが期待出来る。要検討。

問 話した言葉が画面表示される機器等を導入し、窓口の意思疎通を支援しては。

答 **福祉課** アプリ対応済。



7月25日に行われた防犯カメラ寄贈に関する協定締結式



子どもの学校生活を守れ



問 藤久保地域拠点施設整備等事業についての進捗状況は。

答 **施設マネジメント課** 施設の基本設計を行っている。担当課と各所管課、SPCを交え平面プランの設計協議を実施している。

問 7月21日の藤久保小学校説明会の参加人数は。

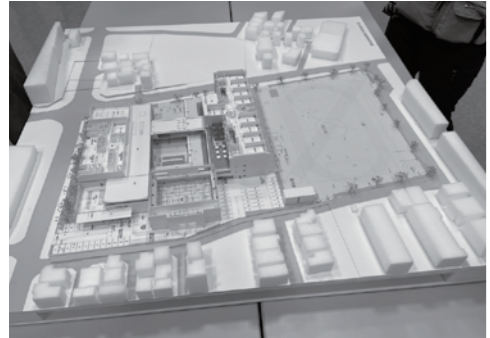
答 **学校教育課** 25名の参加だった。

問 平日金曜日の15時から行われた。説明会を開くきっかけとなった工事中3年間の校庭が使用できない事、その間の外遊びや健康維持問題が何も書かれていなかったが説明会の意図が保護者に伝わらなかったのでは。

答 **学校教育課** 保護者への案内文なので事業の説明会とし、校庭のことなど詳細は当日説明した。

問 保護者から、働いている人の事も考え、曜日や時間の設定をして欲しかった。校庭の問題や振動の説明をするなども具体的に示すべきだったのでは、この声があるがどうか。

答 **学校教育課** 当日参加できなかった人には実施内容をHPで公表し、進捗状況を



公開された藤久保拠点施設建物模型

問 藤久保地域拠点施設整備等事業についての進捗状況は。

答 **施設マネジメント課** 施設の基本設計を行っている。担当課と各所管課、SPCを交え平面プランの設計協議を実施している。

問 7月21日の藤久保小学校説明会の参加人数は。

答 **学校教育課** 25名の参加だった。

問 平日金曜日の15時から行われた。説明会を開くきっかけとなった工事中3年間の校庭が使用できない事、その間の外遊びや健康維持問題が何も書かれていなかったが説明会の意図が保護者に伝わらなかったのでは。

答 **学校教育課** 保護者への案内文なので事業の説明会とし、校庭のことなど詳細は当日説明した。

問 保護者から、働いている人の事も考え、曜日や時間の設定をして欲しかった。校庭の問題や振動の説明をするなども具体的に示すべきだったのでは、この声があるがどうか。

答 **学校教育課** 当日参加できなかった人には実施内容をHPで公表し、進捗状況を

問 町にとって生きる力をはぐくむ文化政策は不可欠だが長期ビジョンは。

答 **町長** 世界の芸術文化都市はごも歴史があり町も同じと考える。目標は①芸術文化との出会い ②芸術を指す人の育成と心の中で芸術文化を膨らませる事 ③文化を継承し他とも交流していくこと

意見書とは？

三芳町議会の意思を意見としてまとめた文書のことで、地方自治法に基づいて、国会または関係行政庁に対して提出することができます。

意見書

ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書

脳脊髄液減少症の治療法であるブラッドパッチ療法は平成28年保険適用となったが、この疾患については未だ統一的な診断や治療の基準が確立されておらず医療の現場で混乱が生じている。すべての患者が等しく治療を受けられるよう脳脊髄液減少症の算定要件や診療上の評価の改定を求める。

提出先 国関係機関

下水サーベイランス事業の実施を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、感染者数の状況が不透明になっている。今後の傾向や新たな感染症対応のため、下水サーベイランスを全国の下水処理場で実施することで、感染規模や増減傾向も把握できると考える。早急に必要措置を講じるよう求める。

提出先 国関係機関

令和5年第2回 入間東部地区事務組合議会定例会

令和4年度の決算審議が行われ、賛成総員で認定されました。

歳入 45億 8530万 8487円 (12.3%増)

歳出 44億 987万 1359円 (13.0%増)

実質収支額 1億 7543万 7128円

【構成市町の負担金】

2市1町の消防・救急、し尿処理、しのめの里は各自治体が72.4%（令和4年度）の費用を負担することで成り立っています。

	令和4年度負担金	増減率
三芳町	6億 7045万 1547円	2.8%
富士見市	13億 273万 1222円	4.6%
ふじみ野市	13億 4616万 8231円	4.1%
計	33億 1935万 1000円	4.1%

【職員給与費】

- 歳出の多くを職員人件費が占めています。
- 事務局職員給与費（8名） 5318万 9532円
- 消防関係職員（一般職 284名・再任用職員 9名） 18億 7845万 5945円
- 他に消防団、管理者、議員、委員の報酬など

【増え続ける救急出場】

119番受信件数・火災件数・救急出場件数・救助出場件数

	令和4年中	令和3年中	増減
119番受信件数	2万 3629件	2万 328件	3301件
火災総数	39件	58件	△19件
救急出場件数	1万 4970件	1万 2086件	2884件
救助出場件数	265件	275件	△10件



三芳町消防団第4分団車庫の改修工事が行われました。(1364万円)

同意しました

任期満了に伴う委員の選出に同意しました。

同意第6号

三芳町教育委員会委員

池上 善一氏

同意第7号

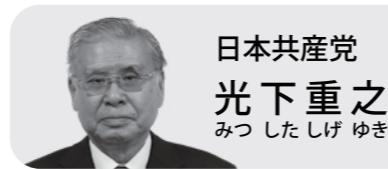
三芳町固定資産

評価審査委員会委員

船津 輝佳氏

一般質問とは？

定例会で議員が行政や政策に関する質問をし、提案をする場です。地域の課題に対処し、住民の声を反映させるための大切な場所です。



日本共産党
光下重之
みつしたしげ ゆき

世界農業遺産とゴミ不法投棄処理



三芳町は日本及び世界農業遺産、ガーデンツーリズムの三つの認定・登録を受けた稀有な自治体。山林等へのゴミ不法投棄問題を解決する必要に迫られている。

問 日本で唯一と思われる不法投棄処分2分の1補助制度申請を待つのでなくサポートすべきでは。

答 環境課 申請が前提だが丁寧にフォローしたい。

問 雑草除去の条例改正は。

答 観光産業課 現時点で条例改正の予定はない。

問 不法投棄を即処理する専門部署の設置は。

答 環境課 理解できるが法の趣旨があり議論が必要。

問 不法投棄抑止制度を全国15の世界農業遺産関係76市町村の環境保全条例を調べたが、ない。ただ佐渡市、能登半島の輪島市等が不法投棄監視員の設置、伊豆市等では監視カメラ貸出し、また佐渡市等がライブカメラ設置をしている。抑止効果があるかもしれない。関係者の意見が一番大事だが、町はどう考えるか。

答 町長 私も即撤去したい。美しい自然があり、おもてなしの心で恥ずかしくない環境にしたい。また美しい自然は芸術文化とも結びついている。日本の代表として、いつ訪問があってもよいように早急に対応しなければいけない。



公共交通計画策定

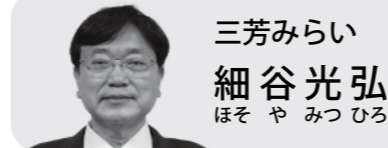
問 早く進めてほしい。新座市・富士見市等と同様に担当を移したらどうか。

答 町長 確かに集中している。すぐに機構改革は出来ないが、努力したい。

問 交通が発達している東京でシルバーバスの経費は一人21000円。町がやっても高くないのでは。

答 政策推進室 既存バスと町の新バスとの共存等課題が多いが、研究したい。

火災予防対策等について



三芳みらい
細谷光弘
ほそ や みつ ひろ



問 町として現在取り組んでいる火災予防対策は。

答 自治安心課 令和4年から住宅用火災警報器の購入補助を行っている。

問 平成20年6月から町では火災警報器の設置が義務となった。その設置の徹底が急務だと思うがどうか。

答 自治安心課 入間東部地区消防と連携をして普及に努めたい。

問 火災警報器の町内の設置状況は。（設置の割合）

答 自治安心課 行政区を限定した調査によると52%から、91%になっている。

問 住宅用火災警報器購入補助金交付申請の件数は。

答 自治安心課 令和4年度18件、令和5年度はここまで4件となっている。

問 火災警報器購入補助交付金について年間予算は。

答 自治安心課 年50万円。

問 年間予算より利用者が大分少ないが、設置推進の取り組みは。

答 自治安心課 ホームページ・広報誌・チラシなど。

問 中々設置が進まない理由は、何か。

答 自治安心課 設置済みか、



三芳町住宅用火災警報器購入補助金



住宅用火災警報器取り付けは義務です！（消防）

その他

未設置の住宅なのか認識出来ていないのと周知もまだ足りていない所がある。

問 消防団、行政連絡区、消防署などと協力して、申請も含めワンストップで火災警報器を取り付ける取り組みが出来ないか。

答 自治安心課 なかなか難しいが、検討していく。

問 予算の枠内で無料で地区ごとに順番に取り付けて行き、火災死亡者ゼロの町、火災警報器取り付け率100%の町を目指したらどうか。

答 自治安心課 保障問題等をクリアできれば、実施を検討して行きたい。

常任委員会は町の行政サービスの内容などを調査し、改善のための提案をします。また、住民からの請願や陳情を専門的な視点から審査・調査を行い、町政をより良くしていく役割を果たしています。議会運営委員会は、三芳町議会を効率よく、円滑に運営するために設置された委員会です。いわば、議会の司令塔の役割を果たしています。

議会広報広聴常任委員会



わかりやすい**住民視点の議会だより**をつくります

身近な議会**ふれあい座談会**を開催します

●役割と定数

議会の活動を住民にお知らせすること
住民の意見を幅広く聴き議会活動に活かすこと
定数は8名

●今後の活動

11月8日(水) 愛知県東郷町議会
11月9日(木) 静岡県伊豆市議会を視察予定
先進的な議会だより 議会報告会 議会モニター等の取組みを調査し三芳町議会に活かしていきます。

議会運営委員会



●所管

議会の運営に関する事項
委員会に関する事項
議長の諮問に関する事項

●定数

6名

●今期(2年間)の協議内容

議会改革として…
通年議会
政策検討サイクル
議場のモニター設置等の整備
(傍聴者の対応含む)
議員定数
議員報酬

●左記協議事項の調査のため

10月17日 茨城県鉾田市議会・茨城県笠間市議会視察
10月18日 宮城県柴田町議会視察

更なるペーパーレス化の推進、議場での傍聴者・障がい者対応としてのデジタル化の整備、当町の規模に見合った議員定数、活動に見合った報酬等協議します。



委員会活動報告

総務常任委員会



●所管

政策推進室、秘書広報室、総務課、財政デジタル推進課、施設マネジメント課、税務課、自治安心課など。

●定数

8名
令和5年4月の改選後、新メンバーとなりました。今後2年間、全員で一丸となり活動していきます。

●協議内容

平時の防災及び減災活動、公共交通、公共施設について、空家・定住促進、など調査・研究を進めます。

●今後の活動は

11月10日 上富小学校・三芳小学校の防災倉庫の視察調査を行います。
(倉庫の周辺の様子、備蓄の内容・状況を確認。)



防災倉庫点検

厚生文教常任委員会



●定数

8名

●今期の調査事項

住民福祉の向上・子どもたちの学びや成長の環境整備充実を目指して参ります

高齢者福祉について
こども支援について
学校教育について
環境問題について

●報告

令和5年7月13日
通学路の安全対策の進捗状況を確認のため聞き取り調査を実施。

令和5年8月4日
「災害時における医療的ケア児の避難支援について」町の現状の聞き取り調査の実施。

令和5年8月8日
「災害時における医療的ケア児の避難支援の体制整備を求める要望書」を町に提出。



議員の賛否公開します



◀詳細については議会ウェブサイトをご覧ください。 ○賛成 ×反対

議案名	結果	三芳みらい			日本共産党	公明党	輝							
		池上 義典	細谷 光弘	長野真寿美	林 三恵	増田 磨美	本名 洋	内藤美佐子	小松 伸介	桃園 典子	久保 健二	牛丸 藍子	菊地 浩二	吉村美津子
令和5年第5回定例会 審議結果														
報告														
令和4年度三芳町健全化判断比率の報告について		報告のみ												
令和4年度三芳町下水道事業会計資金不足比率の報告について		報告のみ												
令和4年度三芳町水道事業会計資金不足比率の報告について		報告のみ												
同意・その他														
三芳町道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町教育委員会委員の任命同意について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算														
令和5年度三芳町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和5年度三芳町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度三芳町下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度三芳町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算認定														
令和4年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×
令和4年度三芳町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
令和4年度三芳町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度三芳町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×
令和4年度三芳町下水道事業会計決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度三芳町水道事業会計決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情・要望														
宗教によって差別されることのない、公平公正な行政サービスを求める陳情		配布のみ												
核も戦争もない平和な二十一世紀を求める要望書		配布のみ												
意見書														
ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)に対する適正な診療上の評価等を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
下水サーベイランス事業の実施を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
公職選挙法における居住要件の改正を求める意見書について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○
教員の労働環境の抜本的改善を求める意見書について	否決(議長裁決)	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○

傍聴席から

本会議や委員会を傍聴された方から
ご意見・ご感想をいただきました。
※一部抜粋を含む

災害時の避難支援体制や要支援者(医療的ケア児)の避難支援について話し合われた。自治安心課や福祉課がどういう仕事をしているのか普通生活していてもわからないことが多く、傍聴することによって町がなにをしているのかわかり町民として良い学びになった。

教育センターへの相談。きめ細かい仕組みづくりの必要性を感じました。「前に進みたい」という思いだけでなく実際に役に立つ仕組みにしていくって欲しい。子育て困っている方が教育、介護等緊急性感じます。追い込まれることのないよう、力になってほしいです。

が小さくて聞きづらかった。もう少しはつきりと聞けるようにしてください。

参考資料は傍聴者には全くわからない。改善を。傍聴者にもWiFiが使えるようにまた議案書もネットで見られるように。思いやり駐車について何う故オンライン申請ができない。

ライフバスで傍聴にきましたがライフバスを充実していただきたい。今のライフバスは路線、時刻など利用したくてもよくわからない。わかりやすい情報を掲示してほしい。交通について高齢者が利用しやすいように早くお願いします。

新型コロナウイルスワクチン接種事業とは、具体的に何をしているのか。現実は何が起きているのかかわからず決算をしていないか間違いがないか検証すべき。

傍聴、一般質問通告書だけでなく、質問に対する資料もあればもっと内容が分かりやすいのと回答も文書でもらいたいです。(通告書と同様に)回答者欄に記載で

傍聴人数

本会議		YouTube視聴回数
令和5年 第5回定例会		
8月28日	議案審議	2人 163
8月29日	一般質問	8人 33
8月31日	一般質問	5人 128
9月1日	一般質問	11人 19
9月4日	一般質問	0人 4
9月20日	議案審議	2人 21
合計		28人 368
委員会		YouTube視聴回数
8月30日	議会広報広聴常任委員会	0人
9月5日	全員協議会	1人
9月5日	総務常任委員会	1人
9月7日	決算特別委員会	2人 129
9月8日	決算特別委員会	99
9月11日	決算特別委員会	1人 186
9月12日	決算特別委員会	23
9月13日	厚生文教常任委員会	1人
9月19日	議会運営委員会	1人
合計		7人 437

きないか。町民として。時間内質問を少しオーバーしてもいいのでは。

マイクのせいか回答の音が小さくて聞きづらかった。もう少しはつきりと聞けるようにしてください。

応答が「委員さんの方で」「検討します」「現時点では」など、質問に対してのりくりに返している点がとても強く感じた。質問する側も用意していた内容に加

とても勉強になりました。

質問も回答も極めて真剣かつ有用な内容だったように思います。

傍聴者はマイクの後ろになるせいか質問が良く聞こえないときがある。何か改善ができないか?

えて1つ1つの回答に対してもっと深く追求してもいいのではないかと思います。

表紙写真のご紹介

4年ぶりの開催となった世界一のいも掘りまつり。笑顔のお子さんと手をつないで参加される親子連れなど、会場はほのぼのとした空気にあふれていました。小学校前の交流広場では、協働のまちづくりのみなさんの「いもづるリース」作りが行われ、廃棄される芋のつるが素敵にリースに変身し感動の声で賑わっていました。



国際交流事業レポート (9月21日～9月27日)

ペタリンジャヤ市長表敬訪問



国際交流事業として姉妹都市であるマレーシアペタリンジャヤ市開催「第1回アジアユースフォークロアフェスティバル2023」にご招待いただき、議会から議長を含め4名の議員が参加！（令和5年6月定例会にて可決した国際交流事業 往復旅費188,000円/1名）



議員と交流



三芳町のモニュメント
左から
小松議員、久保議員、
内藤議長、細田議員



2012年の記念植樹

9/23～24 フェスティバル開催 百花繚乱のパフォーマンス



9/23～24日のフェスティバルでは、三芳町のダンスチーム「百花繚乱」がソーラン節やよさこいなどの楽曲を用いたパフォーマンスを華麗に披露。芸術文化を通じて若者たちが一つになった感動のステージでした。また、早朝7時スタートのハーフマラソンでは、議長もスターターを務めました。



円卓会議

その後開催された市長と各国代表との円卓会議に議員4名も出席。SDGs及び人々が集う魅力ある街づくりについてのプレゼンテーションや意見交換が行われました。

ペタリンジャヤ市での5日間、4名の議員はフェスティバルへの参加だけでなく、学校訪問及び教員・子供たちとの交流、市のスタッフや議員との意見交換、マレーシアパラリンピック委員会やデフリンピック協会の皆様との語らいなど、多くの交流事業を無事務めさせていただきました。この訪問を通じて、改めて国際交流・姉妹都市交流の意義や、交流により三芳町の教育や文化芸術の発展に得るものが多いと確信しました。これからもペタリンジャヤ市と三芳町との交流が続いていくことを期待します。



避難訓練を実施しました

9月4日（月）一般質問終了後、議場からの避難訓練を実施しました。現在の避難行動マニュアルを見直し、議員は各々の役割を事

前に確認した上で傍聴席の方々を誘導しながら1階のロビーまで安全に避難しました。

シェイクアウト



階段を避難中



避難者の確認



余熱利用施設「エコパ」 バーデプール天井改修工事

建築時に耐震で既存不適格であった天井を改修しました。

天井の構造を変更し、軽量の天井材を使用し、安全性の向上を図りました。

3195万5000円

三芳町負担分約523万円

- 令和4年度三芳町利用者数
- 優待者 19,026人 98%
- 一般者 389人 2%
- 合計 19,415人



ロビーコンサート

9月13日午後ヴァイオリンとヴィオラによる二重奏が役場1階ロビーに奏でられました。

弦楽器2本からは想像できないほど深い音色が広がり、音楽の魅力がたくさん詰まったコンサートでした。



橘和美優さん(ヴァイオリン)

岡田桃佳さん(ヴィオラ)

ちょっと一息しませんか?



議会の動画を配信しています。



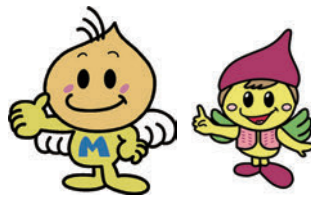
議会の動画をインターネット動画配信サイトYouTube上でご覧になることができます。本号の記事中にある動画のQRコードを読み込むか、右記QRコードにアクセスしてください。



三芳町議会
中継ページ

次の議会定例会は

12月1日(金)
開会の予定です



声の議会だより

朗読ボランティア「けやき」の皆さんが朗読したものを三芳町議会ウェブサイトで聴くことができます。



編集後記

9月定例会は、8月28日から9月20日まで日程通り、24日間開催されました。今定例会は、令和4年度決算が決算特別委員会にて、審査が行われました。さて、新型コロナウイルスも2類から5類へ移行となり、行政、地域での事業、イベント等元気に開催されています。みよしまつりも天候に恵まれ、4年ぶりに開催されました。祭りでの結びの花火も盛大に打ち上げられ、多くの皆様も感動され心に残ったことでしょう。また、三芳町議会では、ふれあい座談会を10月21日(土)に3会場にて開催され、多くの皆様に会場へ足を運んでいただき、ご意見、ご要望をいただきました。三芳町議会としましては、皆様の期待にお応えしていくためにも、開かれた議会を目指して参ります。新体制の議会広報広聴常任委員会では、親しまれる議会だより、見やすい議会だより編集に取り組んでまいります。

(副委員長 池上)

議会広報広聴常任委員会

委員長	池上 浩二
副委員長	菊地 義典
委員	吉村 美津子
委員	光下 重子
委員	桃園 典子
委員	細谷 弘子
委員	増田 美美
委員長	野田 真寿美